

平成21年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 コース等名 人間形成コース

氏 名 山崎勝之

プロジェクトの名称	日本の学校における「適応と健康を守るユニバーサル予防教育」の現状と課題	配分 予算額	2,000,000 円
プロジェクトの概要	いじめ、不登校、校内暴力等、子どもの学校適応にかかわる重要な問題はいまだ解決を見ず、子どもの健康で至福に満ちた日々の生活を脅かしている。また、近年成人期において蔓延している生活習慣病やうつ病が決して成人だけの問題ではなく、子どもにおいてもうつ病罹患児や生活習慣病予備群としての肥満児等が急増していることが明らかになってきた。このような現況に対して、学校教育では、問題が顕在化してから対応が中心となり、すべての子どもがこのような問題をもつ可能性に目を向けた完全一次（ユニバーサル）予防の周到な試みは行われていない。 これまでこのような問題が重大視されてきたにもかかわらず、科学的基盤をもって系統的、組織的にこの問題に対処する試みは不足しており、この点について現代の学校教育を改革することが急務になっている。このため、本研究では、日本において健康と適応を守るユニバーサル予防教育を、継続的、組織的に行う最初の準備を行う。すなわち、日本におけるこの種の予防教育の現状を把握し、整理することを試みる。この予防教育の把握と整理は、学校におけるいじめ、不登校、校内暴力等の学校適応系と、子どもにおける生活習慣病、うつ病、食行動問題等の心身健康系に分けて行われる。日本におけるこの種の予防教育のレビュー論文や整理資料がこれまでに確認されず、その現状を明らかにすることが最初に必要なことであった。 また同時に、日本の学校教育においてこの種の予防教育の継続的な実施を妨げる要因を明らかにし、それを克服する方途を考える。その要因は、実施時間の確保、実施教員の研修方法、教育効果の提示方法等多岐に及ぶものと予測される。 本プロジェクトでは、上記の目的の達成のため、文献調査を行い、さらには、これまで日本においてこの種の予防教育を実施してきた大学や研究所の研究者との研究者専門家会議そして現場の学校教員との学校教員専門家会議を開いた。		
成果の概要	研究は、主として文献調査・整理、そして研究者ならびに学校教員専門家会議の運営から実施された。 文献調査・整理研究では、日本における学校での健康と適応へのユニバーサル予防教育プログラムを網羅するために、学術雑誌や紀要論文等での検索と整理、そして出版された書籍の収集と整理が行われた。この文献調査結果の整理は、プログラムが対象とする予防問題、予防の対象者、プログラムの規模や実施期間、実施者の詳細、研修方法開発の有無、効果評価の有無とその科学性、目的と方法の構築への理論や技法背景の有無、実際の適用状況等に関連して整理された。その整理結果は、最終的にデータベース化され、http://www.naruto-u.ac.jp/center/prevention/ において公表されている。 次に研究者専門家会議においては、現在把握している予防教育プログラム開発の主要な研究者に、東京、大阪、岡山、広島、宮崎等の各県から参集いただき、会議を開催した。会議においては、各研究者が開発し実施している予防教育プログラムの概要を発表し合い、その共通性と特異性を明らかにした。そこから、この種の予防プログラムが共通の理論的背景と方法論をもって開発できる可能性、さらには会議に参加した研究者が今後共同してプログラムの開発と実践を行える可能性を模索した。そして最終的には、参加者全員による討議と検討により、日本全体でこの種のプログラムがある程度のまとまりをもって開発・実践できる基盤を構築した。 また学校教員専門家会議においては、東京、大阪、徳島、和歌山、佐賀、福岡等の多くの府県から、小、中、高校で予防教育プログラムの実践経験のある学校教員を招いた。会議では、学校における予防教育の継続的実施を模索し、現場の教員が実施する際の諸障壁の確認とその克服方法について話し合い、開発されたプログラムを広範囲において継続的に実践する方途を確立する貴重な情報を得た。この会議の内容は広く公表するため、「子どもの健康と適応を守る学校予防教育『研究者専門家会議』ならびに『学校教育専門家会議』報告書」として冊子化され提供されている。		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。

区 分	品 名 等	規 格 等	数 量	単 価	金 額	備 考
備 品 費 (な し)					0 円	
小 計					0 円	
消 耗 品 費						
図書購入費	予防教育関連書籍				3 2 7 , 4 1 6 円	
データベース用 文献整理文具費	タックインデックス のり、カッター等				6 0 , 8 7 8 円	
会議運営用文具	カード立て、電池等				1 6 , 5 2 0 円	
インク・トナー代					2 0 , 8 2 4 円	
用紙代					8 , 7 5 4 円	
小 計					4 3 4 , 3 9 2 円	
そ の 他						
研究者専門家 会議開催費	研究者招聘費 宿泊先移動費 会議飲食費 謝金				3 7 1 , 2 5 0 円 6 , 7 4 0 円 5 0 , 4 2 6 円 9 3 , 6 0 0 円	
学校教員専門家 会議	研究者招聘費 宿泊先移動費 会議飲食費 謝金				5 0 5 , 3 8 0 円 1 3 , 3 0 0 円 5 0 , 6 8 0 円 1 3 5 , 2 0 0 円	
印刷製本費	会議報告書				2 8 5 , 0 0 0 円	
文献複写	文献複写依頼費 文献コピー費 コピーカード作成費				4 9 , 4 0 7 円 2 , 4 2 0 円 2 , 2 0 5 円	
小 計					1 , 5 6 5 , 6 0 8 円	
合 計					2 , 0 0 0 , 0 0 0 円	